

# 認知言語学： 言語普遍性と言語固有性 2

---

サンフランシスコ州立大学／国立国語研究所  
南雅彦

# 言語普遍性と言語固有性

- 言語固有性

- 無生物主語＋他動詞＋目的語

## Non-volitional Subject Sentence Structure

- **High operating temperatures** shorten lubricant life.  
作動温度が高いと、潤滑油の寿命は短くなる。
- **A closer evaluation of the proposed design** can narrow the number of choices.  
提案されているデザインをより綿密に検討すると、選択できる範囲は狭まってくる。
- **Rain** prevented us from going on a picnic.  
雨でピクニックに行けなかった。
- **This bus** will take you to the station .  
このバスに乗れば駅に行く。

# 言語普遍性と言語固有性

## • 言語共通性

- 音象徴が英語と日本語に共通して認められるか。
  - 日本語においても英語においても、「滑らかさ」を表す多数の語に[s]が含まれている。
  - [s]と「滑らかさ」の音象徴的対応。
    - さっと ↔ swift
    - さらさら ↔ swish
- 2言語間に言語接触があれば、1つの言語の音象徴をもう1つの言語が借用することは考えられる。
  - しかし、2言語間に系統的な関係がなく、言語接触もなければどうか。
  - 共通性を単なる偶然だと結論づけることは可能か。
- 多くの言語に共通するという仮説を立てることができるか。

# 言語普遍性と言語固有性

- 意味論でも言語間に共通な現象は認められる。
- 血縁関係にある兄弟ではなく、精神的なものか何かを共有しているという意味で「非常に親しみがある男性の仲間」という意味で使用される「**兄弟**」「**brother**”
  - 「ほな行こか、**兄弟**」(ヤクザの親分の武田)  
『椿山課長の七日間』(2009年12月19日テレビ朝日系列)
  - Curtis Taylor, Jr. (Jamie Foxx) to James “Thunder” Early (Eddie Murphy)  
Dreamgirls (film): 2006 American musical film.
    - C: My **brother**, we are through.
    - J: Kiss my ass, **brother**.
  - Jimmy’s manager Marty (Danny Glover) to Curtis Taylor, Jr. (Jamie Foxx)
    - M: Sorry, **brother**, it’s two or nothing. It’s boring, kid.
    - C: I’m no kid, mister.
    - M: You want him, **brother**? You’ve got him.

# 言語普遍性と言語固有性

## • 言語共通性

1. (a) I get up **at** seven.  
(b) 7時に起きます。
2. (a) I will come **on** Wednesday.  
(b) 水曜日に来ます。
3. (a) I will return **in** August.  
(b) 8月に帰ります。
4. (a) I'm starting tomorrow.  
(b) 明日出発の予定です。
5. (a) I listen to music every morning.  
(b) 毎朝、音楽を聴きます。
6. (a) When will you go?  
(b) いつ行くんですか？

# 言語普遍性と言語固有性

## • 言語共通性

1. (a) I get up **at** seven.  
(b) 7時**に**起きます。
2. (a) I will come **on** Wednesday.  
(b) 水曜日**に**来ます。
3. (a) I will return **in** August.  
(b) 8月**に**帰ります。
4. (a) I'm starting tomorrow.  
(b) 明日出発の予定です。
5. (a) I listen to music **every morning**.  
(b) 毎朝、音楽を聴きます。
6. (a) When will you go?  
(b) いつ行くんですか？

「今日・明日・来月・来年」など、時間がさほど特定されず、その範囲がかなり緩やかで相対的である場合(例:現時点から見て「明日」でも翌日になれば「明日」ではなくなる)

「毎朝・毎晩・毎日・毎週・毎月・毎年」など、一定の時間的間隔・距離を表す場合

when「いつ」という疑問詞を含んだセンテンスを発する話者には時間が特定できない場合